

安心の地域医療を
めざす会

市民が望む新医療センターを！



6月27日の
要請行動

「安心して住みつけられる地域医療をめざす会」は、8月8日に市長に申し入れを行いました。6月27日に続き、今年度2度目の申し入れとなりました。詳しい内容についてお知らせします。

現在の新医療センター構想は、十分ではない

これまで「安心して住みつけられる地域医療をめざす会」では、倉成市長が示した①市立病院・診療所の存続 ②水沢病院の建替え、という方針を支持し、新市立病院建設を早く実現するよう活動してきました。

しかし、市が示した(仮称)新医療センター構想は、①病床数が80床程度と過少であること ②診療科が明示されていないこと ③市民要望の強い産科が位置付けられていないこと、など多くの問題点をかかえています。

以上のことから、会として次の項目について市長へ申し入れを行いました。



- ① 市の計画の十分な説明を
 - ② 検討組織への市民参加と公開
 - ③ 多様な医療ニーズと感染症などに対応できる病床数の確保の確保など
 - ④ 正常分娩が市内でできる態勢の確保など
- 申し入れには、桂田新医療センター準備室参事と佐々木医療局経営管理部長が対応。参加した会員からは、「子どもが産める体制づくり」をしっかりと計画に盛り込むことやこれまで保健センターが担ってきた市民の健康増進活動の重要性について意見が出され、新医療センター構想に反映するように申し入れしました。

民報

おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59番地
Tel 24-2021
Fax 24-2049

小池晃書記局長 来たる！



★いつ 8月30日(水) 14時30分
★どこで コープアテルイ西側(やまや向い)

会では、財政が厳しいなか多額の投資をする新医療センター建設は、市民の理解と納得のもとに進められるべき、との考え方で引き続き市民の意向の集約に努める方針です。安心の地域医療をめざす会の要請を受けて、市は8月18日、「新医療センター検討懇話会」の委員の募集をホームページ上にアップしました。会の要請が市を動かしたかたちと言えます。

不安…

奥州市でも豪雨災害！

局地的な豪雨と雷鳴が奥州市を襲いました。8月18日には、江刺梁川の県道で法面が崩落しました。19日夜には、水沢上姉体地区で道路が冠水し、消防車3台が出動する被害が起こっています。地球規模での気候危機。今こそ真剣に考える時です。あわせて、災害対策についてしっかりと取り組んで参りますので、地域の災害情報などお寄せください。



江刺梁川の県道